

食の安全推進のためのタウンミーティング結果

開催日: 令和3年11月16日(火)
場 所: 御前崎市研修センター
主 催: 静岡県
当日参加人数: 16人

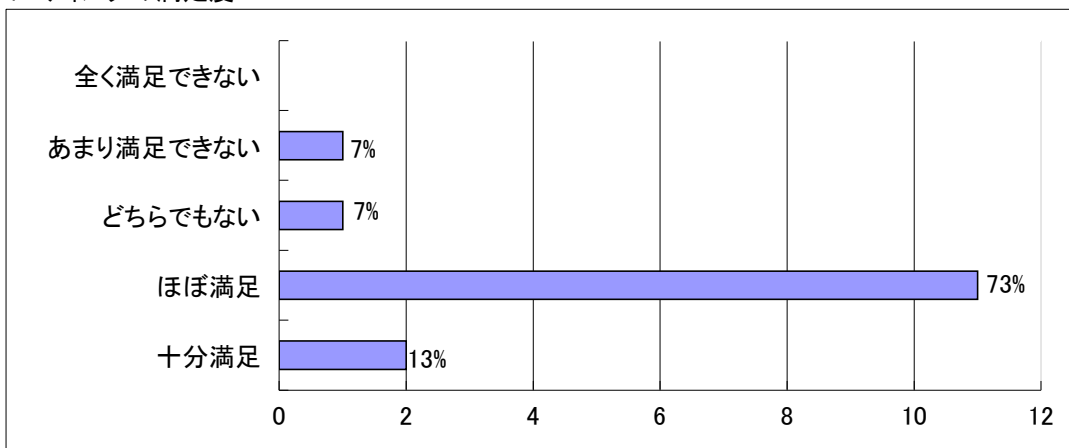
I 参加者

(1) 男女比

男性	0人
女性	16人
合計	16人

II タウンミーティングについて

(1) タウンミーティングの満足度



III 意見・感想(アンケートから抜粋)

- 大変勉強になった。次回も機会があれば参加したい。
- 食品監視制度があることを知り、安心してスーパーなど利用できることが分かった。
- 検査や監視を今後も徹底して行ってほしい。
- 子育て中の若い世代に向けてのタウンミーティングも設定してほしい。
- 茶の生産に使用される農薬で河川が汚染される等の環境汚染が心配。

IV 参加者からの意見(1問)+質問(4問)

給食関係の仕事をしていて、監視指導を受けた経験がある。受ける側としては、緊張する場面ではあるが、大切なことなのでこれからも監視指導は続けてもらいたい。

(県回答) これからも県民の期待に応えられるよう、監視指導を続けていく。

栽培歴の記録は、道の駅や無人販売する場合でも必要か。

(県回答) 道の駅では、主催者がルールを決めているので、そのルールで栽培歴の記録を求められている場合は必要となる。無人販売は、流通に乗る商品とは別であるため、そこまで求められるものではないと考える。

一人暮らしの人への配食は、届出する必要はないということによいか。また、配食するにあたり、気をつけるべき項目を示してもらえるとありがたい。

(県回答) 配食について、基本的には許可は不要だが、事前に具体的な内容を保健所に相談してほしい。注意事項については、近くの保健所か保健センターに相談してもらえば情報提供可能である。

昔は、鰹など時間の経過で色が変わったが、最近売られている物は色が変わらない。惣菜も腐りにくくなっているが、どうしてか。

(県回答) 昔に比べて、衛生管理の技術が上がっている。県では、年1回は製造施設に立ち入りを行い、指導を行うとともに、スーパーに並んでいる商品を検査し、安全を確認している。安心して食べていただきたい。

「遺伝子組換えでない」と書いてある商品は、本当に遺伝子組換えの材料を使用していないのか。

(県回答) 令和5年4月から「遺伝子組換えでない」という任意表示は、混入がないと認められる場合のみ表示できる。それまでは、5%まで混入している場合がある。